





**デジタル技術を中心とした  
独自の技術開発で  
好調な事業の拡大と、  
新規事業の育成を進めます。**

代表取締役社長

**梶尾 和雄**

## 付加価値の高い製品で 収益を確保しながら成長

**Q** 前期（2012年3月期）の  
業績について聞かせてください。

2012年2月に公表した前期の業績予想をクリアしました。東日本大震災やタイの洪水の影響を受けた一年でしたが、マーケットシェアの高い時計と電子辞書が収益を回復し、堅調に推移しました。

**Q** 時計と電子辞書の  
強みを教えてください。

当社の時計には『G-SHOCK』という世界的なブランドがあり、このブランド力を活かしたイベントを積極的に展開することで、新たな流通網を構築することが可能です。また、当社の電子辞書は以前から学校で採用されており、その信頼性に加え、機能・デザイン・コストにおいて常に市場を先行していくことで、国内で圧倒的なシェアを維持・拡大しています。

## Q 時計と電子辞書以外の事業は いかがですか。

デジタルカメラは、差別化された製品の投入で、収益性を高める方針を採っております。その一例として、先日当社のハイスピードカメラがテレビ番組で取り上げられ、その能力の高さが話題となり、販売数量も伸びました。

また、海外市場への拡販については、独自技術を活かした製品の積極的な世界展開を推進し、特に新興国に対しては営業体制をさらに強化していきます。

## “開発こそ成長の源”という原点に立ち 新たな事業を積極的に創出

### Q 新規事業に対する考えを 聞かせてください。

当社はデジタル技術をベースに製品開発を行い、事業を拡大してきました。つまり、新たなことへの挑戦によって成長を成し遂げてきたといっても過言ではありません。もう一度この原点に立ち戻り、全社を挙げて開

発力を強化して新規事業を創出してまいります。

そのひとつに当社が得意とするデジタル技術を活かした「デジタル絵画(3D)事業」があります。これはデジタル化した絵画を、立体化してアウトプットするというものです。アートという分野に新しい可能性を拓くものと期待しています。

さらに、プロジェクターに新しい付加価値を加えた「デジタルサイネージ事業」への取り組みや、腕時計とネットワークをつなげる「リスト端末事業」などの事業化を推し進めてまいります。

### Q 最後に株主様に一言お願いします。

当社はこの数年、採算性などの観点から事業構成を見直し、基幹事業の収益力強化に努めてまいりました。そして、その成果は着実に上がってきています。今後は、これらの事業に加え、新規事業にも積極的に取り組んで成長を続けてまいりますので、今後とも一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## ネットワーク時代に求められる腕時計の進化形とは？ その追求から生まれた次世代の腕時計

カシオが開発してきた数々の時計は、“時を計る”という本来の機能にとどまらず、常に何らかの新しい価値がプラスされてきました。では、ネットワークが日常生活に深く関わるようになった現在、カシオはリストウォッチをどのように進化させていくのでしょうか？その方向性を示唆する新商品、G-SHOCK『GB-6900』をひも解きます。

### ▶▶ 時計を見つめなおし 新しく進化させ続ける

カシオのリストウォッチの開発史は、常に時計を見つめなおし、時を計るという本来の機能にとどまることなく、進化させてきた歴史といっても過言ではありません。代表的なものに、常識を超えた耐衝撃性という付加価値で腕時計の中での確固たるブランドを確立したG-SHOCKや、高度計や方位計などのさまざまなセンサーを搭載したアウトドアウォッチのPRO TREKがあります。今回の開発でカシオはまた新しい腕時計の進化を目指しました。テーマは、「ネットワークとつながる腕時計」です。

### ▶▶ 使い勝手を崩さないための 最大の壁は電池寿命

では、ネットワークとつながる時計を開発するための技術的な壁は何でしょうか？ネットワーク端末の代表である携帯電話やスマートフォン、タブレット型情報端末を思い浮かべると、そこに答えがあります。すなわち、数

日で充電しなければならない電池寿命です。時計の電池寿命は2年、3年といった年単位のものになります。時計であるためには、ここは犠牲にできません。そこで着目したのが、省電力で通信を可能にする近距離無線通信技術・Bluetooth®です。カシオは、2007年からこのBluetooth®の通信ルール策定に参画して新製品の開発を進めてきました。そして、2011年1月にBluetooth® low energy technologyに対応した時計の開発を発表し、翌2012年3月に、約2年間の電池寿命を実現したスマートフォンと通信できる新しい時計を発売しました。

Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

### ▶▶ 常に身につけているという 腕時計の特徴を活かした機能

新製品は、世界で累計5,000万個以上売れているG-SHOCKブランドの人気モデルのデザインを変えず、そこに新しい機能を搭載しています。これは、いかに新しい機能を持つとはいえ、時計としての本来の価値を損なってはいけなかったと考えたからです。

G-SHOCK『GB-6900』にはスマートフォンの時刻情報を受信して腕時計の時刻を自動修正するなどユニークな新機能が搭載されていますが、日常でもっとも便利に感じるのは、スマートフォンをバッグに入れておいても、電話やメールの着信を時計が知らせてくれる機能でしょう。技術的にはメールの内容をスマートフォンから時計に送ることも可能ですが、時計の狭い液晶でメールを読みたい人はいないはずです。つまり、『GB-6900』の付加価値は、常に身につけていると

いう腕時計の特徴を活かして、腕時計とスマートフォンが補完して利便性を高めることにあります。「ネットワークとつながる腕時計」の第一弾は、スマートフォンとの連動で利便性を高めることを実現しました。そして、その先には、スマートフォン側の機能やアプリケーションと時計が連動し、さまざまな生活に役立つ情報を腕時計で確認できる可能性が広がっています。カシオはこの分野に今後も注力し、ネットワークとつながるリスト端末を開発し、提供していきます。

## スマートフォンとリンクする次世代型G-SHOCK



### スマートフォンによる時刻修正

タイムゾーンの異なる国や地域に移動しても、スマートフォンの時刻情報を受信し、自動的に時刻を修正します。<sup>\*1</sup>



### 携帯探索機能

腕時計のボタン操作でスマートフォンのアラームやバイブレーションを作動させ、所在不明のスマートフォンを探すのに役立ちます。



### 自動再接続

内蔵の傾斜スイッチが腕時計の動きを感知すると、スマートフォンと自動接続。面倒な接続設定の手間を軽減します。



### 着信のお知らせ

電話着信やメール受信<sup>\*2</sup>を電子音やバイブレーションで報知し、相手の名前を液晶に表示。腕時計をタップすると音や振動が停止します。



### リンク切れ通知

スマートフォンとの無線接続が切れるとバイブレーションで通知。スマートフォンが手元から離れても通知します。

<sup>\*1</sup> 時計は、携帯電話の時刻が修正されたタイミングで自動的に修正します。携帯電話の通信事業者によっては、自動的に現地の正しい時刻に修正されないことがあります。

<sup>\*2</sup> SMS/Gmail/Eメール/spモードメールなどに対応(マーケットからダウンロードされるメーカーには対応していません)。

# 新製品紹介

## ▶ New Products

### Consumer

#### コンシューマ



2011年  
7月22日  
発売

#### デジタルカメラ

**EXILIM**  
EX-TR100



#### 仲間撮りを楽しめる フリースタイルカメラ

液晶モニターとレンズ、フレームが回転し、自由なスタイルで撮影が楽しめるデジタルカメラです。広角21mmレンズを搭載し、複数人での仲間撮りが可能です。

2011年  
10月13日  
発売

#### 電子文具

**プリン写ル**  
PCP-2000



#### 宛名印刷ができる ハガキ&フォトプリンター

パソコンを使わずに簡単にはがきや写真をプリントできるハガキ&フォトプリンターです。大きく見やすい8型のカラー液晶画面を搭載しています。

2011年  
10月29日  
発売

#### 時計

**OCEANUS**  
OCW-S2000

#### 操作性と機能美を追求した ソーラー電波ウォッチ

上質に仕上げた薄型ケースに、独自システム[Smart Access]を搭載しました。リューススイッチの操作により、多彩な機能をスムーズに使いこなせます。



2011年  
11月12日  
発売

#### 時計

**SHEEN**  
SHW-1500

#### 女性らしさを引き立てる 小型ソーラー電波ウォッチ

星や月のモチーフがきらめく洗練されたデザインが女性を美しく引き立て、ジュエリーのように楽しめる小型のソーラー電波ウォッチです。



2011年  
11月18日  
発売

#### デジタルカメラ

**EXILIM**  
EX-ZR200



#### 快適に撮影が楽しめる 高倍率デジタルカメラ

撮影間隔0.27秒の快速シャッターを搭載した高倍率モデルです。被写体を判別し、必要に応じて連写合成を行うオート撮影機能を搭載しています。

2011年  
12月9日  
発売

電子文具

ネームランド  
KL-G1



### 印字スピードを 2倍に速めたラベルライター

ラベルライター“ネームランド”の発売20周年を記念して、従来機種比2倍の印字速度を実現し、見やすいバックライト付き液晶を搭載しました。

2012年  
2月29日  
発売

時計

G-SHOCK  
GW-4000



### 過酷な環境に耐える パイロット用タフネスウォッチ

耐衝撃、耐遠心重力、耐振動を実現する新タフネス構造「TRIPLE G RESIST」を採用したパイロット仕様です。文字板も視認性を高めました。

2012年  
1月24日  
順次発売

電子辞書

EX-word  
2012年モデル



### 最適なモデルが選べる 使いやすい電子辞書

スクロールパッドやダブルカードスロットの搭載でより便利に進化。プロや学生向け、語学学習モデルなど豊富なラインアップに、小学生モデルを追加しました。

2012年  
3月2日  
発売

電卓

fx-CG20



### 身近な事象を題材にして 学べるグラフ関数電卓

身の回りにある曲線を関数のグラフと結びつける“ピクチャープロット”機能を始め、高精細なカラー画面を活かした多彩な学習支援機能を搭載しました。



Baby-G  
BGA-133-1BJF

### 広告キャラクターに 長谷川潤さんを起用

女性向けウォッチBaby-Gの広告キャラクターに、ファッションモデルとして幅広く活躍する長谷川潤さんを起用。アクティブでスポーティなイメージと健康的で飾らない自然体の美しさが、「タフ&キュート」をコンセプトにするBaby-Gのイメージにマッチしています。

2012年  
3月16日  
発売

デジタルカメラ

EXILIM  
EX-ZR20

### 快速シャッターを搭載した デジタルカメラ

快速シャッターを搭載したコンパクトモデルです。僅かな光で撮影できるHSナイトショットや、さまざまなフィルター効果を加えるアートショットを搭載しています。



2012年  
3月下旬  
発売

電子楽器

XW-P1



### ライブ演奏に最適なパフォーマンスシンセサイザー

ライブ向けの音作りと演奏表現にこだわったシンセサイザーです。充実した内蔵音色・波形をもとに多彩な音作りができ、ライブ演奏でのパフォーマンスをサポートする機能も装備しました。

## System

システム



2012年  
2月発売

ハンディターミナル

IT-9000-W05J

### 訪問先からデータの 送受信ができる業務用端末

電気・ガス・水道の巡回検針などに役立つ、プリンター体型のハンディターミナルです。データ通信機能を搭載しており、業務に必要な情報を現場で参照できます。



2011年  
12月発売

店舗支援端末

VX-100



### スタイリッシュで多機能な店舗支援端末

顧客・予約・売上管理などの多彩なアプリで店舗経営を支援するビジネス端末です。Androidプラットフォームの採用により優れた拡張性と発展性を実現しています。

2012年  
2月下旬  
発売

データプロジェクター

XJ-A256



### 長寿命光源を搭載したスリムなプロジェクター

独自の“レーザー&LEDハイブリッド光源”により、約2万時間の光源寿命と、3000ルーメンの明るさを実現した、スリムなA4サイズのプロジェクターです。

### Topic 01 中南米の営業・物流体制を強化

2011年10月、カシオブラジルを中南米全体の営業・マーケティング活動の拠点として再編したほか、本年1月にウルグアイに設置した新しい物流拠点を稼動しました。これらの体制強化により、当社が成長市場と位置づけている中南米での拡販に向け、地域全体へのマーケティング活動のスピードを高めるとともに、各国のユーザー要望に対して迅速かつタイムリーな商品供給が可能となります。

### Topic 02 タイの時計新工場が稼動

タイの時計工場を東北部の台地にあるコラート地区(ナコンラチャシマ県)に移転。2012年3月よりテスト稼動し、4月より生産を開始しました。新工場は、腕時計を月産70万個まで生産する能力を備えています。工場の増床や増築ができる十分な敷地があることから、将来は複数品目にわたる総合生産拠点としての拡張も可能です。新興国など海外市場での需要拡大を背景に、将来必要な腕時計の生産能力を確保し、国際的なグループ生産体制の最適化を図ります。



### Topic 03 エコマークアワード2011を受賞

水銀ランプを使用しない当社のプロジェクターが、財団法人日本環境協会が主催するエコマークアワード2011において、数ある全エコマーク認定商品の中から特に環境性能が高く、連続投映ができる長寿命の優れた商品として選出され、「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。本賞は、2011年に新設されたもので、当社商品が栄誉ある受賞第一号になりました。



# 業績のご報告

## ▶ Performance Report

### ● 当期の業績概要

当期における内外経済は、東日本大震災の影響、欧州債務危機を発端とした世界景気の減速、歴史的な円高水準の定着、タイの洪水による影響などにより、景気の先行きは極めて不透明な状況のまま推移しました。

そのような状況下、当期の売上高は、前期比11.7%減の3,016億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが前期比14.6%減の2,153億円、システムが前期比7.3%減の431億円、その他が前期比0.3%増の432億円となりました。

時計は、世界的なブランド戦略の強化により、「G-SHOCK」、[EDIFICE]といったブランドが、中国や北米などで好調に推移し売上を拡大しました。また、「Baby-G」、

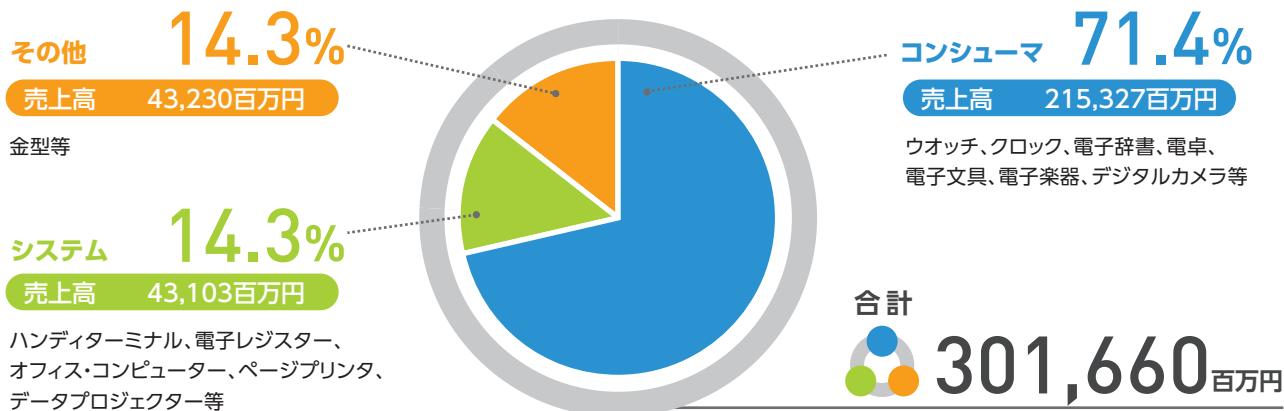
[SHEEN]といった女性向けブランドのラインアップを拡充し、売上を拡大しました。電子辞書は「EX-word」シリーズの販売が学生向けモデルを中心に堅調に推移し、引き続き、国内で圧倒的なNo.1シェアを確保しました。

損益につきましては、コンシューマは時計や電子辞書が引き続き高収益性を維持した結果、営業利益は146億円、営業利益率は6.8%となりました。システムは法人需要の冷え込みなどにより、23億円の営業損失となりました。その他は2億円の営業利益となりました。この結果、調整後の連結合計として90億円の営業利益となりました。また、経常利益は69億円、当期純利益は25億円となりました。

### 主要財務指標(連結)

科目	連結会計年度		
	2011年度	2010年度	2009年度
<b>経営成績</b>			
売上高	(百万円) 301,660	341,678	427,925
営業利益	(百万円) 9,065	12,042	△ 29,309
経常利益	(百万円) 6,980	11,702	△ 25,082
当期純利益	(百万円) 2,556	5,682	△ 20,968
1株当たり当期純利益	(円) 9.51	20.90	△ 75.58
<b>財政状態</b>			
総資産	(百万円) 366,212	402,456	429,983
純資産	(百万円) 149,254	153,232	168,857
1株当たり純資産	(円) 554.22	569.57	577.38
自己資本比率	(%) 40.7	38.0	37.3
D/Eレシオ*	(倍) 0.75	0.90	0.65
<b>その他</b>			
設備投資額	(百万円) 6,678	6,183	10,068
減価償却費	(百万円) 6,060	7,674	12,657
配当金	(円) 17.00	17.00	15.00

## セグメント別の状況



## 次期の業績見通し

今後も全く予断を許さない厳しい環境下において、当社は独自技術を活かした製品の積極的な世界展開を推進し、業績の大幅向上を目指します。主な施策は以下の通りです。

- ① 時計事業は、世界的なブランド戦略を強化し、さらなる事業拡大と高収益性の維持を図ります。  
「G-SHOCK」、「Baby-G」、「EDIFICE」、「OCEANUS」、「PRO TREK」、「SHEEN」といった6ブランドを中心に、ラインアップを充実させ、世界市場における積極的なプロモーションを展開し、高付加価値化を図ります。
- ② 電子辞書事業は、国内市場においては、小学生向けモデルを投入し、引き続きNo.1シェア維持と高収益性の維持を図ります。また、海外市場においては、中国等での拡販を行い、事業拡大を図ります。

- ③ 海外販売体制の強化により、新興国などの海外市場で販売拡大を図ります。
- ④ 新規事業は、「リスト端末事業」、「デジタル絵画(3D)事業」、「デジタルサイネージ事業」の研究及び事業化を図ります。

### 2012年度業績見通し(連結)

売上高	3,200億円	(前期比 +6.1%)
営業利益	200億円	(前期比 +120.6%)
経常利益	170億円	(前期比 +143.6%)
当期純利益	100億円	(前期比 +291.2%)

# 要約財務諸表(連結)

## Financial Data

### 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2012年3月31日現在)	前連結会計年度 (2011年3月31日現在)	科目	当連結会計年度 (2012年3月31日現在)	前連結会計年度 (2011年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	244,022	269,150	流動負債	91,585	117,886
現金及び預金	53,128	41,114	支払手形及び買掛金	49,682	51,688
受取手形及び売掛金	57,923	61,744	短期借入金	3,817	14,800
有価証券	49,861	84,376	1年内返済予定の長期借入金	—	10,000
たな卸資産	45,589	45,427	未払金	17,764	20,180
繰延税金資産	8,598	8,788	未払費用	12,048	11,894
現先短期貸付金	19,430	17,338	未払法人税等	1,914	2,900
未収入金	7,007	6,865	製品保証引当金	840	875
その他	3,031	4,078	その他	5,520	5,549
貸倒引当金	△ 545	△ 580	固定負債	125,373	131,338
固定資産	122,190	133,306	社債	30,710	25,000
有形固定資産	62,409	66,433	新株予約権付社債	250	50,000
建物及び構築物	18,591	20,995	長期借入金	77,457	38,000
機械装置及び運搬具	1,853	2,172	繰延税金負債	1,651	1,878
工具、器具及び備品	2,306	2,830	退職給付引当金	11,295	10,696
土地	37,487	38,319	役員退職慰労引当金	1,842	2,785
リース資産	1,284	1,632	その他	2,168	2,979
建設仮勘定	888	485	負債合計	216,958	249,224
無形固定資産	5,942	6,170	(純資産の部)		
投資その他の資産	53,839	60,703	株主資本	160,923	162,939
投資有価証券	33,150	45,278	資本金	48,592	48,592
繰延税金資産	18,030	11,737	資本剰余金	65,703	65,703
その他	2,676	3,739	利益剰余金	55,218	57,233
貸倒引当金	△ 17	△ 51	自己株式	△ 8,590	△ 8,589
資産合計	366,212	402,456	その他の包括利益累計額	△ 11,918	△ 9,808
			その他有価証券評価差額金	490	1,733
			繰延ヘッジ損益	△ 238	△ 238
			為替換算調整勘定	△ 12,170	△ 11,303
			少数株主持分	249	101
			純資産合計	149,254	153,232
			負債純資産合計	366,212	402,456

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)	前連結会計年度 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
売上高	301,660	341,678
売上原価	195,622	227,923
販売費及び一般管理費	96,973	101,713
営業利益	9,065	12,042
営業外収益	2,003	3,007
営業外費用	4,088	3,347
経常利益	6,980	11,702
特別利益	220	59
特別損失	6,485	1,428
税金等調整前当期純利益	715	10,333
法人税、住民税及び事業税	3,616	3,878
法人税等調整額	△ 5,605	1,207
少数株主損益調整前当期純利益	2,704	5,248
少数株主利益又は少数株主損失(△)	148	△ 434
当期純利益	2,556	5,682

## キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)	前連結会計年度 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,793	13,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,107	△ 25,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,729	22,984
現金及び現金同等物の期末残高	100,710	117,119

## セグメント情報

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)	前連結会計年度 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
売上高*		
コンシューマ	215,327	252,083
システム	43,103	46,511
その他	43,230	43,084
合計	301,660	341,678
セグメント利益又は損失(△)		
コンシューマ	14,643	16,521
システム	△ 2,350	△ 1,488
その他	299	576
調整額	△ 3,527	△ 3,567
合計	9,065	12,042

\*売上高について、セグメント間の取引は相殺消去しています。

## 地域別売上高

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)	前連結会計年度 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
国内	金額	142,400
	構成比(%)	47.2
北米	金額	30,613
	構成比(%)	10.2
欧州	金額	45,989
	構成比(%)	15.2
アジア・その他	金額	82,658
	構成比(%)	27.4
		162,351
		47.5
		42,109
		12.3
		54,155
		15.9
		83,063
		24.3

詳細はホームページ「投資家情報サイト」でご覧いただけます。

<http://www.casio.co.jp/ir/>

# 株式情報

## Stock Information

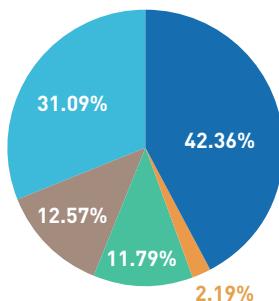
### 株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数 471,693,000株  
 発行済株式の総数 279,020,914株  
 株主数 57,113名

#### ○ 所有状況

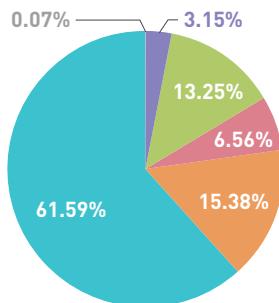
##### 所有者別内訳

- 金融機関 118,206,358株  
(株主数 77名)
- 証券会社 6,110,502株  
(株主数 45名)
- その他の法人 32,883,843株  
(株主数 436名)
- 外国法人等 35,061,068株  
(株主数 343名)
- 個人・その他 86,759,143株  
(株主数 56,212名)



##### 所有株式数別内訳

- 百株未満 190,589株  
(株主数 4,304名)
- 百株以上 8,802,174株  
(株主数 32,997名)
- 1千株以上 36,966,556株  
(株主数 18,794名)
- 1万株以上 18,297,418株  
(株主数 839名)
- 10万株以上 42,915,309株  
(株主数 136名)
- 100万株以上 171,848,868株  
(株主数 43名)



### 大株主 (2012年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	14,979	5.57
日本生命保険相互会社	13,669	5.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	13,194	4.91
有限会社カシオプロス	10,000	3.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	9,865	3.67
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	8,535	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	8,055	3.00
株式会社三井住友銀行	6,821	2.54
榎尾 俊雄	4,362	1.62
三井住友海上火災保険株式会社	4,122	1.53

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,168,943株)を控除して計算しています。  
 また、自己株式は上記大株主からは除外しています。  
 2. 住友信託銀行株式会社は、2012年4月1日をもって商号を「三井住友信託銀行株式会社」に変更いたしました。

### 株価の推移



# 会社情報

## ▶ Company Profile

### 会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	カシオ計算機株式会社	設立年月日	1957(昭和32)年6月1日
英文商号	CASIO COMPUTER CO., LTD.	資本金	48,592,025,877円
本社	東京都渋谷区本町一丁目6番2号 TEL : 03-5334-4111 (代表)	従業員数	2,608名

### 役員 (2012年6月28日現在)

#### 取締役

##### 代表取締役社長

樫尾 和雄\*

##### 代表取締役副社長

樫尾 幸雄\*

##### 専務取締役

村上 文庸\* (コンシューマ事業部長)

##### 常務取締役

高木 明徳\* (財務・IR担当)

中村 寛\* (営業本部長)

樫尾 彰\* (営業本部 副本部長 兼 システム事業部長)

#### 取締役

高島 進\* (研究開発 兼 環境担当)

武市 浩一\* (総務人事統轄部長)

増田 裕一\* (時計事業部長)

樫尾 和宏\* (DI事業部長)

石川 博一 (社外取締役)

※印の取締役は執行役員を兼務しています。

#### 監査役

##### 監査役(常勤)

寺尾 康史 (社外監査役)

高須 正

##### 監査役

大徳 宏教 (社外監査役)

#### 執行役員

取締役を兼務する者以外の執行役員は以下の通りです。

大埜 修 (生産資材統轄部長)

矢澤 篤志 (生産資材統轄部 副統轄部長)

持永 信之 (VP事業部長)

守屋 孝司 (システム事業部 副事業部長)

中村 均 (営業本部 国内営業統轄部 副統轄部長)

樫尾 哲雄 (営業本部 CS統轄部長)

沖室 敏治 (営業本部 海外営業統轄部 副統轄部長)

外山 秀之 (総務人事統轄部 人事部長)

泉 徹郎 (システム事業部 副事業部長 兼 株式会社CXDネクスト代表取締役社長)

樫尾 隆司 (宣伝部長 兼 株式会社カシオコミュニケーションプレインズ代表取締役社長)

中山 仁 (QV事業部長)

高野 晋 (財務統轄部長)

山岸 俊之 (経営統轄部長)

小林 誠 (秘書渉外部長)

植原 正幸 (営業本部 戦略統轄部長)

伊東 重典 (営業本部 米州地域統轄担当)

## 株主メモ

事業年度  
定時株主総会  
基準日

毎年4月1日から翌年3月31日まで  
毎年6月開催  
定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日(中間配当制度はございません。)  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人  
事務取扱場所  
(郵便物送付先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-176-417(受付時間 平日午前9時～午後5時)  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

(電話照会先)  
(ホームページ)  
単元株式数  
公告の方法

100株  
電子公告  
下記の当社ホームページに掲載する。  
<http://www.casio.co.jp/ir/>  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない  
事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。

上場証券取引所

東京

※株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社は、2012年4月1日をもって、中央三井信託銀行株式会社及び中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、商号を「三井住友信託銀行株式会社」に変更いたしました。なお、郵便物送付先の住所及び電話照会先の電話番号に変更はございません。

## 株式に関する住所変更等 のお届出及びご照会について

株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

## 特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

## 本報告書に関するお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社  
総務人事統轄部 総務部 総務課  
TEL : 03-5334-4845

## 皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952

いいかぶ

検索



空メールにより  
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。  
(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも  
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL : 03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

UD  
FONT

Waterless  
Printing. Naturally.

VEGETABLE  
OIL INK